

クリニカルパスWGにおける学習会の取り組み

愛媛医療センター
看護師 正岡 小百合

第20回愛媛県クリニカルパス研究会 COI開示 筆頭演者氏名: 正岡 小百合 所属: 愛媛医療センター

演題発表内容に関連し、筆頭演者に開示すべき利益相反(COI)関係にある企業などはありません。

クリニカルパスに関連する組織

クリニカルパス委員 医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、診療放射線技師、栄養士、理学療法士および事務

クリニカルパスWG 看護師のみ

学習会グループ

マニュアルグループ

学習会グループの取り組み

- ◆ 問題点
新たに委員となったスタッフのクリニカルパスに関する知識不足
- ◆ グループとして何が出来るのか
知識定着のための学習会による支援
- ◆ 取り組み
学習会に関するアンケートを実施し、メンバーの学習ニーズを把握した上で学習会の内容に反映させる取り組みを計画した
- ◆ 目標
新規委員を対象にクリニカルパスの学習会を実施し、知識定着を行う

アンケート内容と結果

Q 今年度、学習したい事はありますか？

A バリアンス・アウトカム・昨年度の学習会の内容

A パスの作成方法・使用方法・修正方法・評価方法・パスの審査について



以上の結果から、「クリニカルパスの基礎知識」「アウトカムとは」「バリアンスとは」の学習会を計画を立てた

学習会の内容

◆ パワーポイントで作成した資料を用いた集合研修の計画

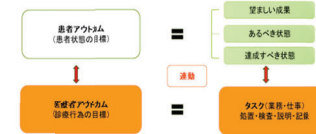
クリニカルパスとは

■ 患者を中心に考えチームで共有する「総合医療計画書」

パスは、その対象症例の医療ケアに必要な医療（医師、看護師、薬剤師、栄養士、理学療法士、リハビリ事務職員など、多職種によって編成されたチームで作成

目標→「その日、患者を望ましい状態にするための」他職種が共有する目標となる

アウトカム：達成目標や到達目標



バリアンス収集方法と特徴

バリアンス収集方法	登録日	登録する人	バリアンス数	分類による評価対象
遠隔地・バリアンス方式	なし	なし	少ない(症例数)	施設基準・院外基準中心
センシティブ方式	バリアンス発生日 バリアンス集計日	アウトカム判定担当 バリアンス分析担当	少ない(重要)	在院日数中心
ゲートウェイ方式	バリアンス発生日	アウトカム判定担当	アウトカムの数による	アウトカムの内容による
オールバリアンス方式	バリアンス発生日	バリアンス発生担当者	莫大	医療ケア行為 医療者・病院システム

当院では、**オールバリアンス方式**を採用している

学習会に振り返り問題を導入

問題：クリニカルパスで誤っているのはどれか

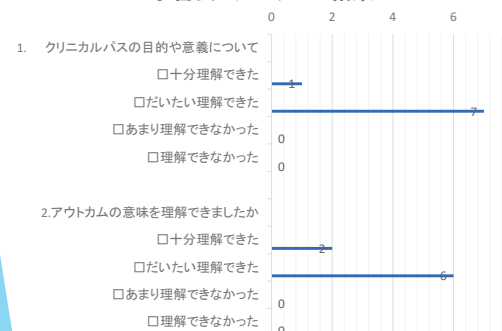
1. 典型的な経過を示す疾患に用いられる。
2. 医療者用と患者用との両方を作成する。
3. 個々の患者の状態に応じて作成する。
4. 標準的な治療・ケア計画を示す。

(解答)問題：クリニカルパスで誤っているのはどれか

1. 典型的な経過を示す疾患に用いられる。
(○)→クリニカルパスは標準的な診療計画なので、典型的な経過を示す疾患で用いられることが多い。
2. 医療者用と患者用との両方を作成する。
(○)→目標や日々の予定などの情報を共有する、自己管理や患者指導に活かすなどの利点があることから医療者用と患者用との両方を作成するのが一般的である。
3. 個々の患者の状態に応じて作成する。
(×)→クリニカルパスは標準的な治療・ケア計画なので、個々の患者の状態に合わせて作成するものではない。
4. 標準的な治療・ケア計画を示す。
(○)→クリニカルパスには疾患や治療法ごとに標準的な治療・ケア計画が示されている。

参加者の評価

学習会 アンケート結果



➤ クリニカルパスWGで今年度学習したことは、病棟でどのように周知しましたか？

● 学習会の資料を申し送りに挟んで周知した、掲示板での掲示

● 一人一人への説明。質問に答える、毎月の病棟会で周知する

● 今後、病棟で学習会の実施予定

その他アンケート結果

▶ アンケート結果より

Q.分からないこと、聞きたいことはありませんか？

A.実際に使用して分からない事や困っていること等についても学習会をして欲しい

A.パス作成のマニュアルを修正中のため参考にできず困った

今後は、アンケート結果をもとに、実際にパソコンを使用した学習会を行い、今後の学習会グループ活動に活かしていくこととする

取り組みの評価

「クリニカルパスの基礎知識」「アウトカムとは」「バリエーションとは」の学習会は実施できた

- ・ 知識の提供だけでなく、学習会後の振り返り問題を導入し、知識の定着を図りおおむね高い理解度を得られた
- ・ パスの入力操作について
パスの作成方法・使用・修正・評価方法など、実際に演示して指導をすることを考えていたが実施できなかった。知識提供だけでなく、実際に操作することで学習効果を高められることが考えられるので、次年度の取り組みにつなげる

次年度の課題

今年度は、新たにWG委員となったスタッフが多かったため、クリニカルパスの基礎知識を中心に学習会を行った

- ・ 来年度は、クリニカルパスの操作に関して実技を取り入れた参加型の学習会を行い、学習効果を高める取り組みを行う
- ・ クリニカルパス使用上の問題点・分からない事を確認し、学習会の実施
- ・ 学習会実施後の振り返り問題を導入したが、後日解答用紙を配布し各自で振り返りをしてもらった為、来年度は回答用紙を回収し理解度の把握につなげる
- ・ クリニカルパスの作成・申請方法など、委員会活動に必要な内容についても学習会に取り入れ、クリニカルパスの推進につなげる